

すでに『ワキ（ガス）』が発生しています！
このままでは、根傷みによる生育停滞は必至です！！

新・米づくりやまがた日本一運動置賜地域本部

6月4日に仙台管区気象台から発表された1か月予報によると、**気温が平年並み～高くなると予想**されています。また、思った以上に地温が高いと考えられることから、**今後ワキの程度は大きくなると見込まれます**。水交換などの水管理を**早めに行い**、分けつの促進を図りましょう！

ワキ対策など 

～ 人間の口にあたる、『根っこ』
ここが弱ると、生育は大きく停滞します！ ～

- 1 水交換や、一時的な落水管理（2日程度）を行い、根の健全化を図ります。
- 2 今月中に目標茎数が確保されたら、すみやかに落水して作溝・中干しを行いましょう。

【東北地方 1か月予報】

6月 5日～7月 4日

◇期間の前半、数日周期で天気が変わる

◇後半は、平年同様に曇りや雨の日多い

<気温の予報>

6/5～6/11：高い

6/12～6/18：平年並

6/19～7/ 2：平年並

【表 品種別の目標茎数の目安】

品 種	目標とする1株あたりの茎数	
	70株植/坪	80株植/坪
はえぬき	22～24本	19～21本
つや姫	19～21本	17～19本
コシヒカリ	19～21本	17～19本
ひとめぼれ	23～25本	20～22本
あきたこまち	21～23本	18～20本

昨年は、ワキにより、
生育・茎数確保が遅れ、
収量にまで影響を
及ぼしました！！

◇思った以上に水温・地温が高い？！

最近、アオミドロや表層剥離が目立ってきました。
アオミドロなどの藻類で、水温が18～25℃、表層剥離は、25℃が繁殖・発生の適温といわれています。

病虫害対策 

～ ほ場の見回りや草刈等、基本に立ち返りましょう ～

昨年は、カメムシによる被害は少なかったものの、いもち病や稲こうじ病の発生が多かった年でした。

病虫害の対策は、『予防』に勝るものではありません。

カメムシ対策は、「ほ場周辺の草刈の徹底」、いもち病や稲こうじ病対策は、「予防剤の適期散布」など**基本をいかに徹底するかにかかっています**。



栽培履歴の記帳はトレーサビリティの第一歩！今は「安心」なくして、おコメも売れません！！

農薬の使用に際しては、使用基準を再確認し正しく使いましょう…！

農業情報は山形県が運営する農業情報サイト『やまがたアグリネット(愛称:あぐりん)』

<http://agrin.jp/>を参照ください。

